

(様式第2(四))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

評価に関する情報

4/5

識別番号・報告回数	B-08016131	第2報	一般的名称	リン酸オセルタミビル				該当なし	
医薬品を入手した国 (承認国)	医薬品販売名(Lot)	一般的名称	医薬品に対して取られた処置	開始日	終了日	投与開始から発現までの時間間隔	投与終了から発現までの時間間隔	再投与による再発の有無	再投与により再発した副作用名
1. 日本 (日本)	タミフル	リン酸オセルタミビル	投与中止	08/08/01	08/08/01				
2. 日本	シグランコート	ニコランジル	投与量変更せず						
3. 日本	ガスモチン	クエン酸モサブリド	投与量変更せず						
4. 日本 (日本)	レナジェル	塩酸セベラマー	投与量変更せず						
5. 日本	セロクラール	酒石酸イフェンプロジル	投与量変更せず						
6. 日本	オルメテック	オルメサルタン メドキソミル	投与量変更せず						
7. 日本	タケプロン	ランソプラゾール	投与量変更せず						
8. 日本	センノサイド	センノシド	投与量変更せず						
9. 日本	アセトアミノフェン	アセトアミノフェン	不明						
10. 日本	ポドニンS	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	不明						
評価対象となる副作用／有害事象名			評価の情報源		医薬品と副作用／有害事象の因果関係(評価方法)	評価結果		医薬品に関するその他情報	
1. 異常行動 異常行動			REPORTER COMPANY		関連あるかもしれない 関連あり/Yes			1. タミフル： TAMIFLU 2. シグランコート： 3. ガスモチン： 4. レナジェル： 5. セロクラール： 6. オルメテック： 7. タケプロン： 8. センノサイド： 9. アセトアミノフェン： 10. ポドニンS：	
2.									
3.									
4.									
5.									
6.									
7.									
8.									
9.									
10.									

(様式第2(四))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

評価に関する情報

4 / 5

識別番号・報告回数	B-08016131	第2報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし
報告された死因		剖検	剖検による死因	MedDRA	Version (11.1)

(様式第2(五))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

母子に関する情報

5 / 5

識別番号・報告回数	B-08016131	第2報	一般的名称	リン酸オセルタミビル		該当なし		
関連報告番号			親の年齢	親の身長 cm	親の体重 kg	副作用／有害事象名		
親の略名	親の性別	最終月経日	異常行動、 異常行動					
曝露時の妊娠期間		発現時の妊娠期間						
親の関連する治療歴及び随伴状態				親の関連する過去の医薬品使用歴				
原病	開始日	終了日	備考	医薬品名	開始日	終了日	使用理由	副作用 (発現した場合のみ)
親の関連する治療歴及び随伴状態(副作用／有害事象を除く)								

MedDRA

Version (11.1)

(様式第2(一))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-08019530	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄	
最新情報入手日	2008年12月01日	第一報入手日	2007年03月28日	◎ 死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が必要なもの 永続的又は顕著な障害・機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの その他の医学的に重要な状態		報告された死因(死亡の場合)			新医薬品等の区分 該当なし	
副作用	30日	身長 cm	過去の副作用歴			原疾患・合併症・既往歴				
発現国(情報源)	日本(日本)					インフルエンザ 攻撃性				
患者略名	H. Y.	体重 Kg								
性別	男性									
年齢	2歳	曝露時の妊娠期間								
医薬品情報										
販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量	投与期間		医薬品使用理由		
					投与量/回 回数	開始日	終了日			
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	2mg/kg/2回 1日	07/03/24	07/03/25	インフルエンザ		
副作用／有害事象										
重要性	副作用／有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用／有害事象名 (MedDRA-LLT)			持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの時間間隔	最終投与からの時間間隔	転帰
重・重	異常行動 (異常行動)	異常行動				07/03/25	07/03/30			軽
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過										
TAMIFLU 身長、体重不明。 既往歴：元々かんしゃく持ちであった 2007/03/21 発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザBと診断され、本剤を2回内服(2mg/kg × 2回)。 2007/03/25 本剤2回内服(2mg/kg × 2回)し、解熱した。 異常行動発現。泣きわめいて、走り回る、寝転がる、壁に頭を打ち付ける、気に入らないことがあると頭を壁に打ち付けたり、ぐずりが今までより激しくなった。 2007/03/26 本剤投与中止。 2007/03/27 日中は問題なかったが、真夜中にまたぐずりが激しくなった。 2007/03/28 午前中は気に入らない事があると頭を壁に打ち付けたり、ぐずったりする。 異常行動(夜泣きが多い、地面に頭を打ち付けるなど)が続くため、入院。 意識清明で、神経学的その他の身体所見で異常所見は認められなかった。 脳波では異常所見は認められなかった。										

MedDRA

Version (11.1)

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-08019530	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過 (19:00) 落ち着いている様子。 2007/03/29 退院。 頭部MRIでも、異常所見は認められなく、髄液検査は未施行。 5日位の内に、異常行動は徐々に改善していき、ステロイドパルス療法など施行せず、経過、予後は良好であった。 異常行動の転帰：軽快									

MedDRA

Version (11.1)

(様式第2(二))

医薬品 副作用・感染症 症例票(国内・外国)

2 / 5

識別番号・報告回数	B-08019530	第2報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし
担当医等の意見			報告企業等の意見		
本剤による副作用とは考えていない。			本剤投与後に発現しているため本剤と異常行動との関連性は否定できないが、インフルエンザウイルス感染および発熱による影響も考えられる。		
今後の対応					
今後とも同様の副作用の収集に努め、評価していく。 なお、2007年3月20日、警告欄に「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがあること、(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。」を記載し、緊急安全性情報を配布し医療関係者に注意喚起を行った。					
送信者による診断名／症候群及び／又は副作用／有害事象の再分類			第一次情報源により報告された副作用／有害事象		
			異常行動		
累積報告件数・使用上の注意記載状況等					
担当医師は本事象(異常行動)と本剤の因果性について因果関係なしとしているが、企業として因果関係は否定できないと判断し、本情報をもって完了報告を行う。					
1. 使用上の注意記載状況 (国内) 重大な副作用：精神・神経症状(意識障害、異常行動、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等) その他の副作用：興奮 (CDS) Psychiatric disorders/Nervous system disorders					
2. 累積報告件数 2007年4月9日以降の異常な行動：248件(本件を含む)					
引用文献			資料一覧		
・白神浩史、今井憲、森田啓督、塙原紘平、上田悠子、森茂弘 et al. インフルエンザにより異常行動を示した症例に認められた脳波異常と一過性脳梁膨大部病変 N61/日本小児科学会雑誌/(ISSN:0001-6543);112(9)1403-1408/(2008.9)			文献		